

2022 年 7 月 7 日

関係各位

株式会社パテント・リザルト

【自動車部品】他社牽制力ランキング 2021

トップ 3 はデンソー、アイシン、日立 Astemo

弊社はこのほど「自動車部品業界」の特許を対象に、2021 年の特許審査過程において他社特許への拒絶理由として引用された特許件数を企業別※に集計した「自動車部品業界 他社牽制力ランキング 2021」をまとめました。

この集計により、直近の技術開発において競合他社が権利化する上で、阻害要因となる先行技術を多数保有している先進的な企業が明らかになります。

集計の結果、2021 年に最も引用された企業は、1 位 デンソー、2 位 アイシン、3 位 日立 Astemo となりました。

【自動車部品業界 他社牽制力ランキング 2021 上位 10 社】

順位	企業名	引用された特許数
1位	デンソー	5,273
2位	アイシン	1,775
3位	日立Astemo	1,175
4位	住友電装	1,127
5位	矢崎総業	910
6位	ジェイテクト	662
7位	豊田合成	463
8位	SOKEN	409
9位	小糸製作所	382
10位	マレリ	368

※ 当ランキングは、企業グループを考慮した名寄せ処理を用いて算出しています。

【ランキングの集計対象について】

日本特許庁に特許出願され、2021 年 12 月までに公開されたすべての特許のうち、2021 年 1 月から 12 月末までの期間に拒絶理由（拒絶理由通知または拒絶査定）として引用された特許を抽出。

本ランキングでは、権利移転を反映した集計を行っています。2022 年 4 月 15 日の時点で権利を保有している企業の名義でランキングしているため、出願時と企業名が異なる可能性があります。

なお業種は、総務省の日本標準産業分類を参考に分類しています。

1位 **デンソー**の最も引用された特許は「受取人が不在の場合でも配達物の受け渡しを確実に行える車両用配達物受取装置」に関する技術で、トヨタ自動車などの計23件の審査過程で引用されています。このほかには「状況に応じて自在な場所に配車可能な自動配車システム」に関する技術が引用された件数の多い特許として挙げられ、ヤマハ発動機などの計9件の拒絶理由として引用されています。

2021年に、デンソーの特許による影響を受けた件数が最も多い企業はトヨタ自動車(452件)で、次いで三菱電機(269件)となっています。

2位 **アイシン**の最も引用された特許は「トランスミッション周囲の空間の広狭に関わらず搭載できる安価な電動オイルポンプ」に関する技術で、日本電産トーソクなどの計6件の審査過程で引用されています。このほかには「自動運転制御走行の為のより適切な推奨経路を探索できる経路探索システム」に関する技術が引用された件数の多い特許として挙げられ、日産自動車などの計5件の拒絶理由として引用されています。

2021年に、アイシンの特許による影響を受けた件数が最も多い企業はトヨタ自動車(166件)、次いで本田技研工業(132件)です。

3位 **日立 Astemo**の最も引用された特許は「移動体の将来位置を高精度に予測することができる移動体軌道予測システム」に関する技術で、本田技研工業など計7件の審査過程において拒絶理由として引用されています。

2021年に、日立 Astemo の特許による影響を受けた件数が最も多い企業はデンソー(120件)で、次いでトヨタ自動車(88件)となっています。

4位 **住友電装**は「電力供給が遮断されても他の電装品システムは駆動する電力分配装置」、5位 **矢崎総業**は「キャップ本体からの発泡性のシール材の膨張圧力による洩れ出しを防止する電線端末用キャップ」が、最も引用された特許として挙げられます。

* * *

また弊社では、ランキングデータを下記の通り販売しています。

【自動車部品業界 他社牽制カランキング 2021 データ】

▶納品物：以下のデータを収納した CD-ROM

- ・ランキング トップ 50 社：本業界の被引用件数上位 50 社のランキング
- ・被引用件数 トップ 100 件：本業界の被引用件数上位 100 特許、及び引用先の特許との対応

▶価格：50,000 円（税抜）

【本件に関するお問い合わせ先】

株式会社パテント・リザルト 事業本部営業グループ

TEL : 03-5802-6580 FAX : 03-5802-8271 HP : <https://www.patentresult.co.jp/>